

福井県高P連 会報

発行人 福井県高等学校PTA連合会
 (福井県生活学習館「ユニー・アイふくい」内) 後藤 正 邦
 URL: <http://koupren-fukui.gr.jp/>



令和5年度春季高校総体ハンドボール競技 高志高校対福井商業高校



会長挨拶

大変革のとき、 私たちは何をするのか

後藤 正 邦

本年度、県高等学校PTA連合会会長を務めさせて頂きます後藤正邦です。本年五月からCOVID-19の感染症法上の位置づけが変わり、「アフターコロナ」が本格的に始まりました。このコロナ禍から私たちの社会は多大な影響を受け、大きな変化が生まれました。また、以前から唱えられていたことが一気に進んだのもこの直近三年間ほどのことだったように思います。

予測不可能・困難な状況を指す「VUCA時代」という言葉がやたらと目につくようになり、まだ先のことと思っていた「Society5.0」や「生成AI」も、いつの間にか当たり前のことになりました。

学校においても、リモート授業をはじめICTの活用が格段に進み、学校行事やPTA活動などのあり方が変わった例も少なくありません。

つついICT関係ばかりに目が行きがちになりますが、それとは関係なく、コロナ禍前から進められていたことが高校生を取り巻く環境の中で前に進んでいる例もあります。

「主体的・対話的で深い学び」を目指す新学習指導要領（平成三十年三月告示）は令和四年度から高校でも実施に移され、教科学習は大きく変わりました。それに先立ち、令和三年度から大学入学共通テストが導入され、大学入試も様変わりしてきています。今や高校では「探究」真っ盛りとなり、高校での学びの内容や方法は、私たち保護者の頃とは大きく変わりました。

選挙権年齢が十八歳となり「高校生に主権者教育をしなければ」と叫ばれていた平成二十八年もすでに遠い過去。令和四年四月からは民法上の成年年齢も引き下げられ、本格的な十八歳成人社会を迎えることとなりました。

十八歳にして市民社会の主体的構成員としての権利を持ち責任を担うことになる以上、高校生活における学びは変容せざるを得ません。校則の改正が正面から議論のテーマとして頻繁に取り上げられるようになり、生徒指導提要も令和四年十二月に全面改訂されました。

LGBTQへの理解と共感が進み、全国では制服選択制も増えています。

一方、学校や家庭、何より自分自身に改めて目を向けてみると、これだけの大変革の時代にあつて今なお、二十世紀の昔に築いた古い仕組み、体質、思考方法、あるいは空気や雰囲気に関わっていることが多いかということに気づきます。

大変革のときにあつて、高校教育の進展・充実のために私たちは何をすべきでしょうか。その問いに対する答えを考え、行動していくことが、令和五年度の県高等学校PTA連合会のテーマとしたいと考えています。

第六十一回県高P連年次総会

新会長に後藤正邦氏
(藤島高校PTA会長)を選出!

令和五年度の年次総会が六月七日(水)、A OSS A 県民ホールで、各単位PTA から会員百二十九名が参加して開催された。久我泰文副会長の「開会のことば」の後、挨拶に立った井上博之会長は、「この一年間、高P連として「生徒、親、先生の信頼関係再構築」をテーマに活動してきました。無事に終えることができたのも、各校PTA会長の皆様方のご協力があつてのことです。会長が旗を振るのではなく、皆様がそれぞれの役割の元に主体的に動き、各委員会の活動につなげて頂きました。改めて、各校で選ばれた会長の方々の人間力の素晴らしさを感じた次第です。また、会長として県教委の方々との意見交換をする機会も多くありましたが、私たちが普段見えていないところで、多くの方が「より良い教育」のためにご尽力をされていることを知ることができました。各校の活動内容も、広報誌からその一部を垣間見ることができ、コロナ禍から日常へという移行期間の中で、学校の個性が反映されており、活発な活動がなされた一年だったことを感じています。広報紙コンクルの優秀作品を選定する際には、どの学校もそれぞれの良さがあり、レベルが高い中で「選ぶ」という行為



井上博之高P連会長挨拶



豊北欽一教育長祝辞

自体が難しく、選考に関わった委員の皆さんと頭を悩ませながら何とか選びました。多くの時間を費やしての作成だった事と思います。各校の広報誌に関わった皆さん、大変お疲れ様でした。長くも短い一年間でありましたが、子どもの健全な育成を願い集まった皆様方と活動が出来たことで、自分自身も人間として成長させて頂いたと思っています。本当にありがとうございました。」と話された。

次に、来賓として出席された豊北欽一県教育委員会教育長は、高P連年次総会が盛大に開催されることへのお祝いの言葉と表彰を受けられる方々への感謝の言葉に続けて、「令和二年六月、福井県高等学校教育問題協議会答申が出ました。その答申を踏まえ、従来の高校再編(一学年四クラス以下は再編)による規模確保から、少子化を踏まえ、各々の魅力

化を図る方向へ転換しました。毎年五月頃、校長面談を行い、各校の生徒や校風を踏まえ、どう魅力化を図るか、取り組むべきポイントを絞って説明して頂いています。以前は、抽象的でこの学校かわかりませんでした。今は、校長の戦略性や個性、教員との協働性も感じられるようになってきました。PTAの方々も、学校の魅力化に挑戦する校長の熱い思いをご理解いただき応援していただければ幸いです。県教委としても、各校の取組みにどういった支援ができるのか、個別的・全体的な支援も含め、常に考えていきます。三月末のテレビ番組「奇跡体験!アンビリバボー」や「激レアさんを連れてきた」は、宇宙さば缶に関わった先生、生徒の二十一年間をドラマ仕立てにした番組です。この番組に対して全国教育長会議で全国の教育長から「すごい、若狭高校をぜひ訪問したい」との声や本当に感動したという声をたくさん頂きました。これは小浜水産高校や若狭高校の海洋科学科に限った話ではありません。昨年度から、日曜日の福井新聞朝刊で二面を使って高校等の探究活動を紹介しています。普通科系では、SSHや地域課題研究など各校の状況に合わせた取り組みが行っており、中にはクラウドファンディングを利用して自ら資金を集め探究活動を進める意欲的な生徒も登場してきました。近年、大学入試改革が行われ、このような力を問う学校推薦・総合型選抜入試が増加しています。今春の大学入試では約四七%の生徒がこの入試で合格しました。高校の新学習指導要領に探究が取り入れられ、生徒の主体性が重視され、自ら課題を設定して解決に向けて自ら考える活動が主流になってきています。政府は今年の骨太の方針で、プライム上場企業で二十五年をめぐりに女性役員を一人以上、二十三十年までに役員女性比率を三〇%以上にする目標を設定す

るとの記事が載っていました。「リケジョ」という言葉をよく目にしますが、昨年五月に政府の教育未来創造会議が「理工系などを専攻する女性の増加」を提言し女子枠の確保に取り組む大学のサポート強化を打ち出してから、全国で理工系分野の志願者を女性に限定した「女子枠」を設ける取り組みが広がってきています。難関大学が先行して進めており、工学部、建築学部を設置予定の女子大もあります。これからは、あらゆる分野で女性の活躍の場が広がってきます。女子生徒の理系分野進学に向けて、県としてもしっかりと支援を考えていきます。今年十月二十八・二十九日には、「全国産業教育フェア福井大会」が県内各地で開催されます。生徒たちは、日頃の学習成果の発表や全国から参加した生徒との交流、生徒実行委員会としての準備に取り組んでおります。PTAの方々も会場にぜひ足を運んでいただきまして、生徒の頑張っている様子を見ていただければ幸いです。これからの超スマート社会において、教育のDXは不可欠です。県では、今年三月に、「福井県学校教育DX推進計画」を策定しました。県教委や高校では、パソコン上で資料を共有しながら会議を行い、資料等のペーパーレスを進めています。高校によっては、個別最適な学習として学習アプリを導入しています。今年就職時期には、求人票を電子化して自宅で保護者と生徒が就職先をスマホやタブレットで検討できるようにもなります。保護者懇談やスクールカウンセラーとの面談もオンラインで実施することも可能になってきます。皆様方も、総会やイベント等でDXを活用することも意識してほしいと思います。」と挨拶された。続いて、来賓の山崎良成県高等学校長協会会長(藤島高校校長)は、年次総会が盛大に開催されることへのお祝いの言葉に



県教育委員会表彰



広報紙コンクール表彰



4年度役員退任挨拶

続けて、「コロナ禍もようやく落ち着き、各校では、本来の教育活動を取り戻しつつあります。先週末まで、春季高校総体が行われましたが、多くの生徒が大会に参加し白熱した試合が繰り広げられました。また、どの会場にも、多くの保護者の方が応援に来て頂き、その熱い声援に励まされ、大会そのものが盛り上がったものとなりました。何よりも生徒諸君が完全燃焼できたのではないかと思えます。改めて、保護者の皆様にお礼を申し上げます。三年生は、これから就職試験、大学入試を迎えます。ここでしっかりとギアチェンジをして頂き、各自の進路実現に向けて果敢に挑戦して欲しいと思います。各校では、生徒全員後ともPTAの皆様のご理解とご協力をお願いいたします。ところで、現在、教育改革が進められています。この改革の方針の一つに「社会に開かれた教育課程」があります。教育課程というのは、各校で教える教育内容を定めた計画のことです。学校で教える教育内容を社会に開くとはどういうことでしょうか。現在、教育課程は、教員が作り、日々授業を行っています。それを社会に開くわけですから、教員だけではなく、様々な関係者に関わっていただきながら進めていこうということになります。すなわち、これか

らの教育は学校の中だけで行われるのではなく、社会総がかりで取り組んでいく必要があるということです。別の表現をすれば、この予測困難な時代に教育に求められる内容を教員だけで考えることには限界があるということなのかもしれません。そのように考えるとき、学校側から見ると、最も身近な関係機関は、言うまでもなくPTAです。このような意味で、今後PTAの役割はますます大きく、重要になってくると予想されますので、今後とも、皆様からの格別のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。」と挨拶された。

来賓祝辞の後、表彰状贈呈に移り、PTA活動に特に功績のあった五名が県教育委員会から表彰され、各校PTA活動に貢献された四十七名の方々が当連合会会長から表彰された。続いて広報紙コンクールの表彰が行われ、最優秀賞藤島高校PTA、敦賀気比高校父母と教師の会以下九校のPTAが表彰された。

その後議事に移り、令和四年度事業報告、会計決算報告が承認された後、役員の改選が行われ、会長に後藤正邦、藤島高校PTA会長が選出された。退任役員を代表して井上博之会長、新任役員を代表して後藤正邦会長の挨拶の後、議事が再開、令和五年度事業計画案・予算案が審議・承認され、年次総会は終了した。

一、被表彰者氏名(敬称略・五十音順) ※役職は令和四年度時

県教育委員会表彰

- 県高P連会長・高志高校PTA会長 井上博之
- 県高P連副会長・敦賀高校PTA会長 久我泰文
- 県高P連副会長・鯖江高校PTA会長 佐々木貴幸
- 県高P連副会長・勝山高校PTA会長 田中きよみ
- 県高P連理事・藤島高校PTA会長 水島正芳

県高等学校PTA連合会長表彰

各校より推薦されたPTA役員 四十七名

二、令和五年度県高P連役員氏名

会長



後藤 正邦 (藤島)

副会長



出口 岳彦 (勝山)

理事



生島 直樹 (科学技術)

監事



高村 昌裕 (高志)



前田 武彦 (武生商工)



梅田 理香 (金津)



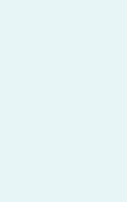
矢野みどり (敦賀気比)



梶 健太郎 (敦賀工業)



宮本 理 (武生)



岩崎 正洋 (若狹)

三、令和五年七月以降の主な行事

北信越地区高P連研究大会新潟大会

七月十四日(金)・十五日(土)
新潟県民会館大ホール

全国高P連大会宮城大会

八月二十四日(木)・二十五日(金)
カメイアリーナ仙台他(仙台市体育館)

キャリアガイダンス研修会

九月九日(土) 県生活学習館多目的ホール
十一月五日(日) AOSSA県民ホール

研究大会

成年年齢引き下げについて

民法改正により、二〇二三年四月一日から「成年」年齢が十八歳となりました。

十八歳と言え、まだ高校三年生でもあり、保護者から見ても、まだまだ子供と言えますが、何が変わるのでしょうか？

P.T.A講演会や学校での周知により、多少の知識は得られているかと思いますが、改めて資料をもとに整理してみました。

まず成年年齢の定義ですが、「二人で有効な契約をすることが出来る年齢」。そして、「父母の親権に服することがなくなる年齢」と書かれています。言い換えると「未成年者は、お小遣いの範囲内で買い物をするといった場合以外は、父母の同意を得ずに契約をすることができない」、「父母の同意のない契約は、取り消すことができる（未成年者取消し）」ということになります。

具体的には、十八歳成人によって、次のことができるようになります。

《十八歳に変わるもの》

- 携帯電話の購入
 - クレジットカードの作成
 - 十年用パスポートの取得
 - 性別の取扱いの変更
 - 公認会計士資格の登録
 - その他、各種の契約、国家資格の取得が可能になります。
- ## 《二十歳が維持されるもの》
- 喫煙や飲酒
 - 公営競技（競馬、競輪、オートレース、モーターボート競走）
 - 養子をとること
 - 児童自立生活援助事業の対象となる者（二十歳まで）
 - 国民年金の被保険者資格
 - 大型（二十一歳）中型免許等の取得

健康面・依存症など様々な影響を考慮して、二十歳を維持

これだけ見ると、自分のことは自分で決めて行動することにより、自律を促すといった年齢を早めるという面では、非常に良いことと思います。しかし、世間には、このことを悪用し、一番騙しやすいピュアな新成人を狙った詐欺まがいの契約が横行していると耳にします。

国民生活センターに掲載されている事例の一つを見てみると、こう書かれています。「お金がない」等と言って断っている消費者に対して、借金やクレジットカード契約をさせてまで強引に契約を結ばせる手口に関するトラブルが、二十歳の若者に多くみられます。全国の消費生活センター等には、以下のような相談が寄せられています。

【事例一】

オンラインスクールの説明を聞いたが、契約金額が高額で「お金がない」と断ると、事業者に貸金業者の無人借入機まで同行され、借金し契約してしまっただ。

【事例二】

大学の先輩にFX自動売買システムの購入を勧められ、「高額で払えない」と断ったら、学生ローンで借金をする方法を事細かく指示された。

どちらの事例も大変なことではあります。【事例一】は他人に迷惑をかけていないのに対し、【事例二】については、この先輩も借金を背負わされており、それを返済するために後輩や友人を巻き添えにしてしまっているということです。借金の返済が困難になると、友人を紹介しろと詐欺集団から圧力をかけてくるよう

です。そして、巻き添えにされてしまった者は、先輩や友人から言われると断りにくく、借金も背負わされるので、最終的には友人関係も壊されていくことになり。こういった話は、よくあると言われています。こうした話を、よくあると言われており、自身の子供や身近な生徒達がこのようなことをしていないか、または巻き込まれていないか心配になりました。

これは一つの例であり、国民生活センターのHPを見ると、たくさん過去の事例がでてくるので、参考にしていただきたいと思えます。相手は、百戦錬磨のプロ集団です。後日、改めて買おうとか、そのサービスを受けようと思つてからでも、契約は遅くありません。契約をせかしてくるようなものは、ほぼ怪しいと思えばいいと思います。少しでも怪しいなど感じたなら、きっぱり断りましょう。騙される人がいる限り、こういった詐欺は、無くならないことでしよう。最後に、参考までに、国民生活センター

のHPにあげられている、「十八歳・十九歳に気を付けてほしい消費者トラブル最新10選」を掲載しておきます。

18歳・19歳に気を付けてほしい消費者トラブル最新10選

- 1 副業・情報商材やマルチなどの「もつけ話」トラブル
- 2 エステや美容医療などの「美容関連」トラブル
- 3 健康食品や化粧品などの「定期購入」トラブル
- 4 誇大な広告や知り合った相手からの勧誘など「SNSきっかけ」トラブル
- 5 出会い系サイトやマッチングアプリの「出会い系」トラブル
- 6 デート商法などの「異性・恋愛関連」トラブル
- 7 就活商法やオーディション商法などの「仕事関連」トラブル
- 8 賃貸住宅や電力の契約などの「新生活関連」トラブル
- 9 消費者金融からの借り入れやクレジットカードなどの「借金・クレカ」トラブル
- 10 スマホやネット回線などの「通信契約」トラブル

LINE ID: @line.ncac
国民生活センター公式LINEアカウント
(藤島高校PTA前会長 水島正芳)

薬物乱用防止について

薬物乱用は絶対にダメです！

*三国高校での取り組みを紹介します。

二〇二二年十月二十日、三国高校にて薬物乱用防止教室が開催されました。三国高校では保健センターから講師を招いて毎年教室を開催していましたが、コロナの影響により保健センターからの講師



の派遣が困難な状況になっておりました。そこでライオンズクラブ会員のPTA役員からの提案により、ライオンズクラブより講師を派遣してもらい教室の開催に至りました。



■依存症について

たばこやお酒の依存症は大量に一度に使用しても依存症になることはほぼありませんが、違法薬物による依存症は、ある程度の量を一度でも使ってしまうとやめられなくなり、徐々に使用量が多くなり、短い間隔で使いたくなってしまいます。そして自分の意志では止められなくなってしまう。この依存症により幻覚を見るなどの精神病になってしまいます。

『依存症』

一度使ってしまうと...

最初の効き目がうすれ
激しい疲労感や不安感にあう

そして、また使いたくなり...

だんだん多くの量を
短い間隔で使いたくなる



薬は用法、用量を正しく使用してください

実は、家庭にある薬の中には、ごく微量ですがジヒドロコデインリン酸というあへんの一種やメチルエフェドリンという覚せい剤の一種が含まれているものがあります。咳止め効果があります。というように、薬物には死に至る恐ろしいもの等様々なものが有る為、医師、薬剤師からの指示された用法、用量を正しく守り使用してください。サプリメントであろうと医師、薬局、家族以外からは絶対に受け取らないでください。

覚醒剤 (かくせいざい)

別名：エス、スピード、アイス、シャブ



■海外では

海外では薬物生涯使用経験の割合が高く、日本は百人に二人程度ですが、アメリカ、カナダ、フランスでは約二人に一人

は使用経験があるというように身近に薬物がある環境です。薬物がらみの犯罪も多く発生しています。その為、大麻等を合法化することで薬局等にて安く販売できるようにし、また、購入者の購入量を管理できるようにすることで薬物がらみの犯罪を事前に防ぐ取り組みをする国や州もあるほどです。海外渡航時は十分気を付けてください。

各国の薬物生涯使用経験

調査年	対象年齢	生涯使用率 (%)					
		大麻	覚せい剤	MDMA	コカイン	ヘロイン	LSD
日本	2019年 15-24歳	1.8	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1
アメリカ	2018年 12歳以上	45.3	5.4	2.2	14.7	1.1	10.0
カナダ	2012年 15歳以上	41.5	4.8	4.4	7.3	0.5	-
フランス	2017年 15-24歳	44.8	2.2	3.9	5.9	-	2.7
スペイン	2017年 15-24歳	35.2	4.6	3.6	10.3	-	-
イタリア	2017年 15-24歳	32.7	2.4	2.7	6.9	-	1.7
イギリス	2017年 15-24歳	20.0	0.9	0.0	10.7	-	5.2
ドイツ	2015年 15-24歳	27.2	2.6	2.2	2.9	-	2.6
オランダ	2017年 15-24歳	28.4	5.4	3.4	6.2	-	1.5

※日本は覚せい剤とMDMAを除く。アメリカは2008年 National Survey on Drug Use and Health 資料、カナダは2008年 Canadian Alcohol and Drug Use Monitoring Survey 資料、ヨーロッパは2008年 EMCDDA 資料、薬物乱用防止センター資料より、筆者作成。

違法薬物を軽い気持ちで一度でも使ってしまうと一生離れられません。薬物乱用の理由に、イライラ、もやもやが晴れないことを理由に挙げる人がいます。そんな人には運動することをお勧めします。少し体に負荷のかかる運動を行うとランナーズハイという状態になり、イライラ、もやもやが多少晴れた感が得られます。

(三国高校PTA前会長 姉崎健司)

ちよと ぼじやましくす!

Introduction

藤島高等学校

安政二年（一八五五年）、福井藩主松平春嶽公によって設立された藩校「明道館」を前身とした藤島高校は、県内トップクラスの進学校として知られています。また多くの運動部、文化部があり、勉強だけでなく大変学校生活が充実したものとなっていると感じました。

さて主なPTA活動として、一つ目は、やはり広報誌です。広報誌である「PTA通信」は、約七十ページとかなり力を入れていきます。学校祭を終えた頃から本格稼働ということで、毎週水曜日の午後編集委員会にて作り上げていきます。この委員会の開催回数は、なんと十回超。

特に力を入れているのは、学校祭での写真撮りとPTAサロン。学校祭では、望遠レンズを構えた通信委員があらゆる角度から写真を撮り、その何千枚もの中からベストショットを選ぶという作業は特に大変とのことでした。また、PTAサロンは、各クラスからフリーな話題で投稿してもらい、その三十通を超える投稿は読みごたえがあり、子供たちへの思い、進学に関する話、自身の高校時代の思い出など、読んでいて楽しいものばかりでした。

昨年もコロナ禍でPTA活動等が縮小される中でも学校祭期間中（文化祭・校内祭・体育祭）保護者の観覧を許可してもらえたそうで、羨ましく思いました。二つ目は、自習室の使用についてです。どの学校もエアカン設置や経費問題で悩まされていますが、藤島では昨年、生徒から自習室の延長開放についての要望が出てきました。これは、現在、福井市立図書館



体育祭



学生食堂



実習室

が改修工事に入っている関係で、放課後自習する場所が無いとのことからでした。延長開放するためには、管理者の人員費やエアコンを含む電気代がかかります。PTA財源も限られてはいますが、こういったところにはお金をかけてあげたいとの話がありました。

三つ目は、学生食堂です。藤島には、学生食堂があります。調理したての温かいものを食べさせたいというPTAの思いから食堂の運営をしてきました。コロナで利用者が減ったことから、運営会社から撤退の話が持ち上がりました。

生徒会でも「どういったものが食べたいか？」など利用者拡大に向けたアンケートを実施し、利用者拡大に向けた取り組みを行いました。また、原材料や光熱費等の高騰から価格見直しをし、運営を維持してくれることになりました。多い時は、一日二百食を超える食堂なので、今後も継続できるようにPTAとしてサポートをしていきたいとのことでした。

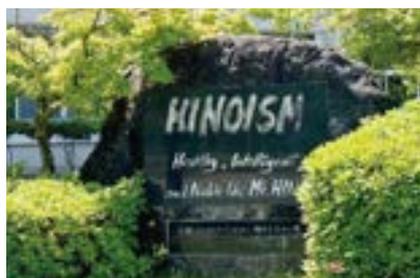
今後自校のPTA活動において参考となることが多く実りある学校訪問となりました。（敦賀気比高校父母師会前会長 田辺寛之）

Introduction

武生東高等学校

新型コロナウイルス感染症が五類になつてすぐの五月十日、武生東高校におじゃましました。

学校はのどかな田園の中にポツンと建っていました。紫式部や松尾芭蕉などが眺めた日野山のふもとにあり、その日野山にちなんで校訓は「HINOISM」とよんでいるそうです。（Healthy, Intelligent and Noble like Mt.HNOI）心身ともに健康で知性豊かで、高潔であれ 日野山のごとくー）



この日は入羽弘之校長先生にお話を伺うことができました。先生のお話には未開の自分を開拓し、未来の自分を切り拓くことを意欲的に取り組んでほしいと思う気持ちがあふれていました。令和四年四月からは学際フロンティア学科がスタートし、探究活動では大学・行政・民間企業・NPO法人など地域との連携を強化、英語力にも力を入れ、Socialiesを見据え、時代に対応する、国際及び地域に貢献する人材を育成していきますとのこと。私はすべてのお話に感動するばかりでした。「地域に戻ってくる人材を育てたい」という言葉はとても印象的でした。

この企画は、調査広報委員が直接「ちよとおじゃま」し、伺った話の中から委員独自の感性でこれはと思われるものを紹介していくものです。

PTA活動について

はPTA前会長長田口聖さんにお伺いしました。PTA組織は企画総務委員会（HINO）だより、学校美化活動（生徒支援委員会（学校祭支援、朝の挨拶運動）、進路支援委員会（保護者対象の受験進路説明会、生徒にはキャリア講座を企画）の三委員会を構成されていて、その他に日野登山サポートを



行っているそうです。HINOだよりでは高P連広報誌コンクールにおいてなんと五年連続受賞をしているそうです。学校美化活動としては様々な種子が遊びにきて根をつけるので、一回四十名程度で定期的に除草を行うそうです。日野登山サポーターは委員会の枠を超えて募集するそうで、まさに学校・家庭・地域が一体となつて行っている行事なのだと感じました。生徒たちは班ごとに分かれて登り、お互いを励まし合い助け合いながら頂上を目指します。友情や絆が生まれ学校生活を豊かにします。リタイヤする生徒はほとんどおらず、下山後の生徒たちの笑顔を見れば大切な行事だと感じているとのこと。私も参加したくなりました。

武生東高校は、これから必要な人材の育成を本気で考え、未知の自分の開拓に前向きに頑張れるように支援して下さる魅力いっぱい高校でした

（金津高校PTA前会長 谷川麻由美）

第20回 広報紙コンクール 最優秀賞に

藤島高等学校PTA・敦賀気比高等学校父母と教師の会!

令和5年度広報紙コンクールが4月15日(土)に県生活学習館において開催された。特別審査員に佐々木紀光氏(福井新聞社 編集局メディア整理部長)、安竹隆美氏(河和田屋印刷 営業部)をお迎えして、調査広報委員会の委員と併せた10名が応募のあった26団体の広報紙の審査にあたった。

例年以上に伯仲している印象があり、大混戦であった。

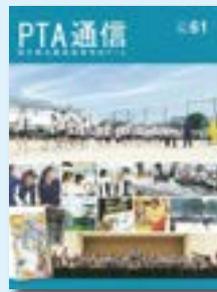
特別審査員、広報委員の会議の話題の中から、各学校のPTAが今後の紙面づくりの参考になると思われるものを以下に挙げる。

最優秀賞	藤島高等学校PTA 敦賀気比高等学校父母と教師の会
優秀賞	金津高等学校PTA、羽水高等学校育成会 科学技術高等学校PTA
佳作	三国高等学校PTA、坂井高等学校PTA 福井農林高等学校PTA、武生東高等学校PTA

★学校の特色、特徴をアピールしているか。

◎内容

- ・地域との繋がりを感じる、保護者目線での探検など興味を引き付ける。
- ・写真を多用しており、生徒の表情が豊かである。
- ・保護者のニーズにこたえる工夫がなされ、レイアウトも含め読み応えのある冊子になっている。
- ・入賞作品は、写真や内容が個性的で手が込んでいた。写真のコメント付きは興味がわく。



藤島高校



気比高校

各校PTA会長会議

六月十七日(土)に「各校PTA会長会議」が生活学習館にて開催されました。自己紹介の後、協議事項の審議に入りました。研究大会やキャリアアゲイダンス研修会等の今年度の活動について確認し、その後、四つの委員会に分かれて今後の活動計画や役割分担、講師案について協議しました。

そして、各委員会からの報告を行い、次回までの宿題や、連絡網をつくり情報交換を行っていくことを確認するなど、貴重で有意義な会議となりました。

北信越地区高P連研究大会 新潟大会

「輝く未来への飛躍」をテーマに、七月十四日(金)～七月十五日(土)開催されます。

大会第一日目は実践発表があり、坂井高校PTAが壇上発表、福井商業高校PTA、武生高校PTA、若狭高校PTAの研究発表は誌上の発表です。

大会第二日目は、俳優・タレントの高橋克実氏の記念講演が予定されています。

インフォメーション

全国高P連大会宮城大会

「豊かな杜につむぐ虹の光」をテーマに、かな強さで生き抜く力をテーマに、をテーマに、八月二十四日(木)～二十五日(金)開催されます。

せひ、参加(視聴)をお願いします。

二十四日(木) 開会行事

十三時三十分～ 開会行事

十五時十五分～ 各分科会 講演・基調講演・

パネルディスカッション二十六日(金)

二十五日(金)

九時～ アトラクション

九時三十分～ 開会行事 表彰式

十時四十分～ 記念講演

仙台育英高校硬式野球部監督

須江 航氏

演題「未定」

十二時～

閉会行事

事務局所在地

〒九一八八二五 福井市下六条町一四一
TEL 〇七七六一四一四〇五三
FAX 〇七七六一四一四〇三三
福井県生活学習館二階



高校生総合保障制度 発足後29年目を迎えて

平成七年度に発足しました高校生総合保障制度も、毎年多くの加入を頂いており、保護者各位ならびに学校関係者各位のご理解とご協力のもと、当制度は各高校のPTAの事業として推進が図られています。

当制度は昨年七月から施行された福井県自転車条例に全プラン適応しており、自転車による賠償事故や搭乗中の生徒本人のケガについて大きな補償を設定しています。

ところでこの時期になりますと、当制度に未加入の保護者の方から「入学時に手続きを忘れたので…」 「子どもがクラブ活動を始めたので…」 などの理由から中途加入をご希望されるケースがあります。また、加入手続をされていない保護者におかれましては、このような場合にも備えて是非、当制度の加入をご検討いただければ幸いです。

○中途加入に関するお問合せ先

高校生総合保障制度事務局
株式会社アイル保険センター
〒91010003

福井県福井市松本4丁目6番15号
TEL: 0776-12313419

(受付時間: 9時~18時 土、日、祝日、年末年始除く)

○保険金の請求方法

保険金の請求についてはお手元にご加入者証をご用意のうえ、事故受付専用ダイヤル(0120-1300-1399)までご連絡ください。

保護者の皆様へ 2023年度版

福井県高等学校PTA連合会

適用される割引率※

15% 割引

高校生総合保障制度

ご案内 [こども総合保険+自転車総合保険]

学校の
休みの日でも

大切なお子さまを補償期間(保険期間)中、1日24時間補償します

ただし、一部の補償は24時間補償ではありません。

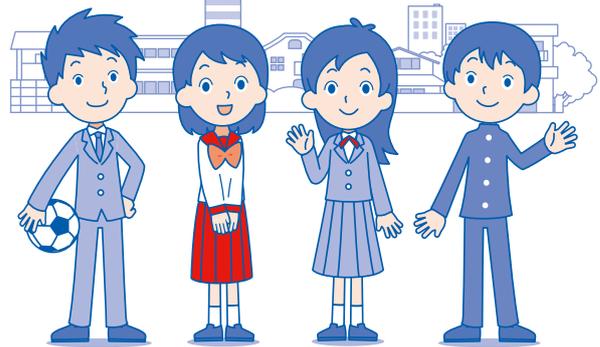
- 全プラン、学校より貸与されたタブレットの破損も補償されます。
- 全プラン福井県自転車条例に対応しております。

※随時中途加入を受け付けております。

自転車事故等による損害賠償責任も 国内無制限補償! (S-SWプラン)

示談交渉サービス*付き! *示談交渉を行う場合は、被保険者および被害者の同意が必要です。国内のみのサービスとなります。

小学5年男子児童の自転車衝突で母親に
約9,520万円の賠償命令(神戸地裁判決)



扶養者の方が事故で万一の際に 育英費用を補償

高校3年間と大学等の合計で、
約943万円の教育費がかかります!

出典:株式会社日本政策金融公庫「教育費負担の実態調査結果」(令和3年度)

簡単支払特急便

スピード対応 お電話一本で手続き完了

ケガによる入院・通院、病気による入院・手術で
10万円以下のご請求は、電話による事故報告のみで
保険金をお支払いします。

プランによって補償項目が異なる場合がありますので、詳しくはパンフレットのプラン表をご確認ください。

※割引率について:パンフレットで案内している保険商品の算出基準である保険料(加入者数20名未満の団体における保険料)に対しての割合を示します。適用される割引率は前年度の加入者数等に応じて決定します。

引受保険会社: AIG損害保険株式会社